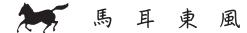
\$\\\^{\partial}\$\$ \\\^{\partial}\$\$ \\^{\partial}\$\$ \\\^{\partial}\$\$ \\\^{\



少し古い話題で恐縮であるが、今年4月12日朝のテ レビに釘付けになり、松山英樹のマスターズ・トーナメ ント(以下マスターズ)の優勝に興奮した。これまで日 本の有名な男子選手の誰も成し遂げられなかった「メ ジャー」の制覇である. この優勝で松山は、生涯マス ターズに招待される特権を得た. 男子ゴルフのメジャー は、マスターズ、PGA選手権、全米オープン選手権と ジ・オープン選手権の4つであるが、マスターズだけが 毎年同じオーガスター・ナショナルゴルフクラブで開催 されている. マスターズに招待される選手は. 前年度の 世界各地のツアーでの賞金ランキング上位者、メジャー 優勝者等のトップクラスのプロ選手で、まさにゴルフの 名手(マスター)達しか参加できない.この他に全米や 全英等のアマチュア大会の優勝者にも招待枠があり、こ れにより2011年の大会に大学2年生であった松山が招 待された. この年松山は初めての出場ながら27位とな り、アマチュア選手のなかで最も成績の良いローアマ チュアを獲得している。ひょっとすると松山にとって相 性のよいコースなのかもしれない.

マスターズの優勝者には優勝賞金と緑色のブレザーが送られるが、「グリーンジャケット」と呼ばれている。ホールアウト後のテレビインタビューと表彰式で前年の優勝者から着せてもらうセレモニーが行われる。表彰式でグリーンジャケット姿の松山が両手を突き上げた喜びの姿は印象的であった。本来なら優勝を決めるパットが入った瞬間にガッツポーズをしたかったのだろうが、パーパットを外したため素直に喜びを表現できなかった

ようだ.

今回の優勝は、3日目にスコアーを伸ばし、2位に4 打差をつけたのが大きかった。3日目ははた目からでも 伸び伸びとプレーしているのが分かったが、最終日の後 半は緊張のためかボギーとなるホールが目立ち、ヒヤヒ ヤさせられた。一流選手でも普段入りそうもない長い パットが入ったり、OBかと思ったボールが木に当たり 戻ってきたりする幸運が優勝をもたらすことがある。ゴ ルフの女神が微笑んだともいわれる。

松山が優勝するまでは人並み以上の努力があったものと敬意を表したいが、あえて苦言を呈したいことがある。それは表彰式でのスピーチを英語でしなかったことである。アメリカを主戦場として8年間ゴルフをしており、これまでも5回の優勝経験もありながら、英語でのスピーチができないのかと残念に思ったのは私一人ではないはずである。日本の女子ゴルフで外国の選手が優勝し、片言であっても日本語でスピーチをする選手には親近感を覚えるものである。これからも海外でプレーし、優勝する機会もある松山には英語でのスピーチを期待したい。

さて、毎年マスターズの開幕前の恒例行事の一つであるチャンピオンズディナーがクラブハウスで開かれている。歴代優勝者(紳士)が集うディナーで、前年の優勝者がメニューを決めるとのことで、来年松山がどのようなメニューにするか興味が持たれている。紳士たちのディナーで、料理も会話も十分に楽しむことができれば、マスターズチャンピオンとして長く尊敬される選手になれるはずである。

(平)